現代の灯台の役割
灯台管理の仕事

最新技術を駆使し海を見守る灯台

清水海上保安部から遠隔管理

灯台の管理業務をする「御前埼航路標識事務所」は、施設の近代化や業務の合理化などにより平成11年（1999）３月31日廃止となり、125年にわたる灯台守の歴史に幕を閉じました。４月１日から下田海上保安部を除く静岡県内の灯台を管理する静岡航路標識事務所が新設され、御前埼灯台も遠隔管理となりました。更に、平成17年（2005）４月１日からは清水海上保安部交通課へ改組され、現在に至っています。

清水海上保安部交通課における灯台関係の仕事

- ■灯台がいつも正しく点灯するよう保守しています
- ■船舶が安全に航行できるよう海上の状況を把握しています
- ■海上保安庁以外に設置管理している灯台を監督・指導しています
- ■灯台で観測した気象情報を電話やインターネットで提供しています
- ■灯台の設置や事故などの情報をインターネットで提供しています

航路標識の役割

（ ）内は航路標識の基数
※令和２年３月31日現在

航路標識は、灯光、形象、彩色、音響、電波などの手段により、我が国の沿岸水域を航行する船舶の指標とするための施設であり、岬の先端に立つ灯台、岩礁などの障害物の存在を知らせる灯標、航路の入り口を示す灯浮標に代表され、その設置目的に応じて種類が異なります。また、外国船舶も含め不特定多数の船舶が広く利用することから、塗色、形状、灯色、光り方などの性質に関して国際的な基準があり、我が国においても国際的な基準に準拠しています。

船舶は、特別な航法の規定がある海域を除き、自由航行が原則であり、水深と自船の喫水との関係から安全かつ能率的な航海計画を立て、その航海計画に基づき常に自船の位置を確認しつつ、航行上の危険となる岩礁や構築物などの障害物を避け、目的地まで航海します。

航海する船舶にとって航路標識は、自船の位置や障害物の位置を確認する際に必要不可欠なものであり、船舶交通の安全確保を図るため、重要な役割を果たしています。

航路標識（5,163基）

光波標識（5,094基）

灯 台（3,135基）

岬や防波堤などに設置し変針点や港の位置を示す

沿岸灯台

防波堤灯台

灯浮標（ブイ）（1,170基）

海上に設置し、障害物の存在や航路などを示す

その他光波標識（789基）

○灯標（468基）
障害物の存在や航路などを示す

○導灯（44基）
狭隘な港への安全な入港針路を示す

○指向灯（17基）
狭隘な港への安全な入港針路を示す

○照射灯（136基）
高光度の灯光で障害物の存在を示す

○立標・浮標（124基）
障害物の存在や航路などを示す

電波標識（35基）

○無線方位信号所（15基）
船舶のレーダー画面上にモールス符号を表示させる

○AIS信号所（20基）
船舶のAIS受信機の地図画面上に、航路標識のシンボルマークを表示させる

その他航路標識（34基）

○船舶通航信号所（27基）
船舶の航行の安全上必要な情報を提供する

○潮流信号所（７基）
潮が早い海峡における潮流の情報を提供する

清水海上保安部で維持管理している灯台の概要

御前埼灯台

航路標識番号：2495
位置：北緯　34-35-45
　　東経　138-13-33
灯質：Fl W 10s（単せん白光　毎10秒に1せん光）
灯高：54. 0m
光達距離：19.5海里（約36km）
光度：560,000カンデラ
塗色：白色
構造：塔形（煉瓦造）
構造物の高さ：22.0m
明弧：221度から104度まで
レンズ：３等レンズ、ベアリング式回転機械
光源：メタルハライドランプ
点灯年月日：明治７年（1874年）５月１日
所在地：御前崎市（御前崎）

清水灯台

航路標識番号：2473
位置：北緯　35-00-38
　　東経　138-31-50
灯質：Fl(2) W 20s（群せん白光　毎20秒に２せん光）
灯高：21.0m
光達距離：14.0海里（約26km）
光度：50,000カンデラ
塗色：白色
構造：塔形（コンクリート造）
構造物の高さ：18.0m
明弧：175度から17度まで
レンズ：５等レンズ、水銀槽式回転機械
光源：メタルハライドランプ
点灯年月日：明治45年（1912年）３月１日
所在地：静岡市（三保半島）

掛塚灯台

航路標識番号：2499
位置：北緯　34-38-52
　　東経　137-48-09
灯質：Iso W ６s（等明暗白光　明３秒暗３秒）
灯高：25.0m
光達距離：12.5海里（約23km）
光度：5,600カンデラ
塗色：白色
構造：塔形（上部鉄造下部コンクリート造）
構造物の高さ：16.0m
明弧：全度
光源：高光度LED
点灯年月日：明治30年（1897年）３月25日
所在地：磐田市（天竜川河口左岸）

舞阪灯台

航路標識番号：2501
位置：北緯　34-40-43
　　東経　137-36-46
灯質：Fl W 15s（単せん白光　毎15秒に１せん光）
灯高：37.0m
光達距離：17.0海里（約31km）
光度：120,000カンデラ
塗色：白色
構造：塔形（コンクリート造）
構造物の高さ：28.0m
明弧：270度から80度まで
光源：メタルハライドランプ
点灯年月日：昭和39年（1964年）４月21日
所在地：浜松市（浜表）

戸田灯台

航路標識番号：2458
位置：北緯　34-58-32
　　東経　138-45-50
灯質：Iso W ６s（等明暗白光　明3秒暗3秒）
灯高：17.0m
光達距離：12.5海里（約23km）
光度：5,600カンデラ
塗色：白色
構造：塔形（コンクリート造）
構造物の高さ：11.0m
明弧：全度
光源：高光度ＬＥＤ
点灯年月日：昭和27年（1952年）２月28日
所在地：沼津市（御浜岬）

伊豆大瀬埼灯台

航路標識番号：2460
位置：北緯　35-01-49
　　東経　138-47-17
灯質：Fl(3) W 13s（群せん白光　毎13秒に３せん光）
灯高：16.0m
光達距離：7.5海里（約14km）
光度：390カンデラ
塗色：白色
構造：塔形（コンクリート造）
構造物の高さ：12.0m
明弧：全度
光源：ＬＥＤ
点灯年月日：昭和32年（1957年）11月30日
所在地：沼津市（大瀬崎）

伊豆淡島灯台

航路標識番号：2462
位置：北緯　35-02-10
　　東経　138-53-11
灯質：Fl(2) W 7s（群せん白光　毎7秒に２せん光）
灯高：10.0m
光達距離：7.5海里（約14km）
光度：390カンデラ
塗色：白地に赤横帯二本塗
構造：塔形（コンクリート造）
構造物の高さ：8.3m
明弧：全度
光源：ＬＥＤ
点灯年月日：昭和51年（1976年）２月27日
所在地：沼津市（淡島北端）

御前埼灯台を守る会 監修 2022年 作成